

熱海市公共施設劣化状況調査業務委託仕様書

1 件名

熱海市公共施設劣化状況調査業務委託

2 委託期間

契約締結日の翌日から平成31年3月15日まで

3 業務目的

庁舎施設が今後何年間維持できるかを把握するため、施設の現状を調査し、集約化を含めた更新等対策を検討する上での基礎資料を作成することを目的とする。

4 対象施設

第1庁舎、第2庁舎、第3庁舎、総合福祉センター、保健センター及び福祉事務所（以下「庁舎施設」という。）

5 業務委託内容

(1) 庁舎施設の劣化状況の調査と評価

① 構造躯体の劣化状況の調査

ア 過去の耐震診断時等のデータを基に、構造躯体の劣化状況調査を行う。また、必要に応じて詳細調査を実施する。

イ 劣化状況を写真等を用いて記録する。

② 構造躯体以外の劣化状況調査

ア 竣工図書、修繕改修履歴、各種点検報告書等を参照し、必要なデータを整理する。

イ 目視を主体に現地調査し、必要に応じて詳細調査を実施する。

ウ 劣化状況を写真等を用いて記録する。

エ 仕様、整備状況等を把握し整理する。

③ 劣化状況の集計・評価・分析

ア 一覧表、カルテ形式等により調査結果をとりまとめる。

イ 施設毎及び施設の部位毎に劣化度（4段階）の評価判定を行う。

ウ 劣化状況を分析し課題を明らかにする。

(2) 庁舎施設の現状・課題の整理と更新等対策方針の検討

① 庁舎施設の配置状況・機能・陳腐化の状況等、庁舎施設の課題を多面的にまとめる。

② 現状と課題を反映した施設毎の更新等対策方針を検討する。

③ 年間予算規模等財政面での制約を考慮し、更新等対策費用の平準化を図る。

(3) 更新等対策費用のシミュレーション

- ① 施設毎に目標使用年数を設定する。
- ② 施設毎に修繕レベルや求められる性能に応じた整備レベルを設定する。
- ③ 更新等対策費用のシミュレーションを行う。
 - ア 施設毎に更新等対策費用のシミュレーションを行う。
 - イ シミュレーションは、施設別・部位別に年度別費用が分かるものとする。
 - ウ シミュレーションは、目標使用年数を超える期間とする。
 - エ シミュレーションの結果は今後20年間程度の長期計画として表等にまとめる。

6 成果品

本業務の成果品は次のとおりとする。

- ① 熱海市公共施設劣化状況調査業務委託報告書 A4版 100部（カラー）
- ② 熱海市公共施設劣化状況調査業務委託報告書（概要版）
A4版 30ページ以内 100部（カラー）
- ③ 電子式記憶媒体等資料
上記①及び②の原稿
(PDF 及び PDF 化する前の Excel、Word 形式で保存した CD-R) 一式
- ④ 庁舎施設の劣化状況の調査データ 一式
- ⑤ その他業務で作成した資料 一式
- ⑥ その他熱海市担当者が指示した資料 一式

7 その他

- (1) 契約後直ちに、本市担当とスケジュールを協議することとし、委託期限は厳守する。
- (2) 本委託業務の実施にあたり、必要とする消耗品類、交通費等はすべて受注者の負担とする。
- (3) 受注者は発注者の許可なく、業務により作成した資料等を公表、貸与、複写することはできない。
- (4) 本委託を実施するにあたり、業務の遂行上知り得た個人情報をみだりに第三者に漏らしてはならない。業務契約終了後も同様とする。
- (5) 成果品は、写真や表・グラフ等を活用し、見やすいものとする。
- (6) 契約書、仕様書に定めのない事項は、熱海市担当者と協議により定める。
- (7) この委託仕様書による成果品の著作権は、本市に帰属するものとする。